

第1回オープンセミナー & 課題別ワークショップ アンケート集計結果

実施：2008 - 05 - 30
集計：2008 - 06 - 02

アンケート総回収枚数：48

質問1) 本日のオープンセミナーのご感想は？

- ・とてもよかった6
- ・よかった.....32
- ・どちらともいえない ...2
- ・よくなかった.....0
- ・悪かった1
- ・不参加.....4

【具体的には？】

- ・大同ガス産業（株）の環境に対する取組み姿勢と熱意、説得力（5名）
- ・課題を洗い出すことができた
- ・具体的な取組み事例を知ることができた（多数）
- ・立場の異なる事例をすることができた
- ・日本での取組みはまだ始まったばかりなのだと分かった。だからこそこのようなイベントを続けていく必要がある。
- ・インターネット上でどのくらいの取引があるのか紹介してほしい
- ・生産性の低い会議だった（1名）

質問2) 事務局では今後定期的にセミナー開催を計画しておりますが、どのようなテーマ・内容での開催を希望されますか？

- ・カーボンオフセットの透明性
- ・カーボンオフセット商品・サービスの実際的な浸透度・市場規模を知りたい
- ・優良事例のランク付け
- ・対象プロジェクトのトレース
- ・引き続き、オフセットのより具体的な国内外事例の紹介（5名）
- ・オフセット全体の効果の検討
- ・利用者（消費者）における京都議定書（日本の排出量6%削減）への貢献についての表示要件
- ・WSでの委員の論点がわからなかった
- ・インターネット上での取引に関して
- ・バウンダリ、CO2排出量の把握（計算）方法、クレジットの獲得、税務など実施に関しての具体的な内容
- ・「見える化」のコスト
- ・環境負担削減における自発的取組みと制度化の比較
- ・カーボンオフセットを行う主体にとってのメリットをどのように明示していくか
- ・複数のプロバイダーに話を聞きたい
- ・CDMプロジェクトの実施状況、クレジットの見込み・実績
- ・国内でのクリーン開発を認めるような身近なテーマ
- ・カーボン・フットプリントについて
- ・業務の伸長による排出量増加に対する施策事例

質問3) 本日の課題別ワークショップについて伺います。

(1) 課題別ワークショップのご感想は？

- ・とてもよかった0
- ・よかった.....23
- ・どちらともいえない...13
- ・よくなかった.....3
- ・悪かった1
- ・不参加.....2

〔具体的には？〕

〔+〕

- ・今後の課題がわかった
- ・新見座長が質問・回答と整理して話をしてくれたのがよかった

〔-〕

- ・他にも取り上げるべき課題がある
- ・対象がマス個人なのか、法人か、プロバイダーか、消費者か、明確化すべき
- ・午後のagendaの資料説明が長かった
- ・事前の詰めがあまく、もっと論点を絞って（基本的な内容はすり合せて）から議論すべき
= 時間がないからこそ事前に内部ミーティングを行った後にワークショップを行うべき（多数）
- ・カーボンオフセット商品やサービスはいわゆる“カーボン”をコンセプトにしたマーケティングと密接に関っているのにもかかわらず、委員会メンバーにマーケティングやブランディングの専門家が入っていないのはおかしい。
= 商品・サービスの開発側の視点が欠けている。
- ・最後に委員の方全員からそれぞれの見解を聞いたかった
- ・委員の方が話している資料の箇所がわかりづらかった
- ・委員（専門家）が自分の言葉で話し、それを座長がわかりやすく通訳しているかのような印象を受けるようなワークショップは良くない。
聞いている人がいるということを前提に認識した議論にしてほしい。

(2) オフセットの取組に係る情報提供ガイドラインに関するご意見・ご質問があればご記入ください。

- ・できるだけ認知度を上げ、広く浸透させてもらいたい
- ・できるだけ自由なものにし、市場の拡大を優先してほしい
- ・いわゆる「品質表示」の部分をどれほどカバーできるかが課題
- ・既出商品・サービスとの整合性
- ・多種多様な業種・商品での取組みが考えられるので、それを想定した（例：常にWeb上でアップデートされるような）形式での作成
- ・オフセットの結果を「5g-CO2」になったとするより、「0g-CO2」とするラベルのみ認証する方が消費者にとっては分かりやすいのでは

(3) カーボンオフセットに対する第三者機関による認定スキームに関するご意見・ご質問があればご記入ください。

- ・対象がマス個人なのか、法人か、プロバイダーか、消費者か、明確化すべき
- ・あまり厳しくしすぎない方がよい。事業として行う場合、コストはかけたくない（申請料が取られるのが負担になり、厳しい）
- ・手続きの簡易化・スピード
- ・できるだけ自由なものにし、市場の拡大を優先してほしい
- ・CDMの認証機関以外にも拡大してほしい
- ・何を認定して何をラベリングで担保するのが大事（排出権の質・価格、プロバイダーの法人としての審査、運用手順）

(4) ラベリングスキームに関するご意見・ご質問があればご記入ください。

- ・専門家の知見を直接聞く機会を提供して欲しい.....8
- ・質問票形式ではなくその場で意見や質問がしたい4
- ・マッチングや懇親会など参加者同士の交流の機会と時間を確保して欲しい ...18
- ・その他2

〔具体的には？〕

- ・一目でわかるシンプルなものが多い (5名)
- ・ISO14000をベースにしてほしい
- ・環境関連のもの分かりやすい整理が必要
- ・できるだけ自由なものにし、市場の拡大を優先してほしい
- ・取消口座に入れるものと償却口座に入れるものとの扱いを公平にほしい
- ・モノ自体が取引されるわけではないオフセット商品も扱うため、取扱を検討すべき
- ・今回のWSで、委員の間で認識が異なり。聞いている方・話している方も混乱しているように感ぜられた

質問4) 今後の課題別ワークショップの開催方法に関するご意見をお聞かせください。

〔その他〕

- ・事前にメールで質問を受け付けてほしい
- ・現在の課題をどのように解決できるか、その解決方法を見出せる場や工夫がほしい

質問5) カーボン・オフセットの普及によって社会やビジネスの低炭素化が促進されると思いますか？

- ・思う.....29
- ・思わない0
- ・どちらともいえない ...13

質問6) カーボン・オフセットフォーラムの提供サービスの強化や追加の要望があればお聞かせください。

- ・情報提供の充実.....19
- ・相談支援の対応強化.....15
- ・普及啓発活動の強化.....11
- ・優良事例や優良事例提供プロバイダーの紹介...19
- ・プロジェクトやディベロッパーの紹介11
- ・ワークショップやセミナー開催頻度の向上

質問7) 今後のカーボン・オフセットフォーラムの活動に関し、ご意見・ご感想等、ご自由にご記入ください。

- ・カーボン・オフセットは今後急速に広まると思われるため、早急のルール作りが必要だ
- ・委員の方の議論を聞いていてもよく理解できない。事実をプレゼンテーションしてほしい。
- ・普及を狙っているのならば、遠方で参加できなかった人のためにも、ホームページ上で今回のワークショップの結果、電子データ、Q&Aを公開してほしい (複数)
- ・カーボンオフセットの概念が理解しづらいので、図解資料をHP上で公開してほしい
- ・今回のセミナー・WS開催自体でCO2がどれほど排出されているのか(電気使用等によって)、今後は参加者一人¥500-1000ほど徴収し、全額を植林事業に投資する活動をしてはどうか
- ・出席者に了解を得られた分の名簿を作成し、配布してほしい
- ・より具体的な成果が得られる活動を期待している
- ・有意義だった